



木曽林務課だより 4月

ニュースでサクラの開花の便りがやってくるこの時期は、冬眠から動物たちも動きはじめる時期でもあり、不慮の遭遇の危険性が高まります。春に山や森林に入られる皆さんに気にかけていただきたいことをお知らせします。

冬眠明けの動き回るクマにご注意ください!!

クマの痕跡があったら近づかない。

春は、クマが芽吹いた草や木の芽を好んで食べることから、雪解けの早い里や沢筋など標高の低いところにクマが集まってくる時期です。

山菜類は、クマも好物なので、山菜採りでクマに遭遇する可能性があります。自分がクマがいる場所に来ていることを忘れずに、**山菜に夢中にならず、周辺に十分に気をつけながら慎重に行動してください。**

「森林の中にはクマがいる」と思って行動を

森林の中に入る場合は、できるだけ単独ではなく、複数で声を掛け合いながら行動しましょう。特に朝夕の薄暗い時間帯や見通しの悪い藪の多い箇所では、不意の遭遇に十分に気をつけてください。

クマに人がいることを音で知らせましょう

クマは、人の気配を感じたら、自分から人を避ける行動をとります。クマ鈴、ラジオなどで音を鳴らしながら、クマに人がいることを知らせながら行動しましょう。

但し、山菜取り等に熱中すると周辺への注意力が散漫になるとともに、風や沢の水音などでラジオや鈴の音がクマに届かない場合があることから、過信は禁物です。

子グマを見かけたら、そのままそっと立ち去りましょう（親子クマに注意）

春は、母グマは子グマを連れていく場合があります。こうした母グマは、子グマを守るために、神経質になっています。**子グマを見かけたら、絶対近づかず、静かにそのまま後ずさって立ち去りましょう。**

弁当の食べ残しやジュースの空き缶などは、山、森林に放置せずに持ち帰ってください。

山や森に人の食べ物を放置するとそれに餌付いた動物との思わぬ動物との遭遇や、集落に動物を誘引する原因になります。

**クマとのバッタリ遭遇が一番危険です。
まずはクマに人の存在を知らせましょう!!**

